

3-2. 片浦地域の主な事業・取り組み (片浦地区)



石橋地区国道 135 号からの眺望



江之浦地区のみかん栽培

■みどりの概況

- ・片浦地域は西側に箱根に連なる山を抱え、東側には急峻な断崖とともに相模湾が存在しています。全域が市街化調整区域となっており、地形を活かした柑橘農業や林業経営がこの地域の特色です。
- ・地域西側山地の自然環境保全地域や自然公園、保安林、海側の風致地区の指定など、土地利用上の規制がかけられている地区が多く、また地形が急峻で土地利用が厳しいことなどから、豊かな自然が残されてきました。現況調査による緑被率は89.9%であり、その7割近くが樹林地となっています。
- ・みどりの資源である樹林地のなかには、石橋山古戦場や戦国時代の土塁遺構をはじめとする多くの歴史的な資源もあり、さらには春のイベントとして、根府川のおかめ桜まつりなども行われています。

■みどりの課題

- ・緑被率が高くみどりが貴重な資源となっている地域ですが、アンケートでは「荒れてきた」、「豊かだがきれいでない」という人が多く、満足度は低い結果となっています。
- ・今後は、自然環境保全地域およびその周辺地域の自然の保全として、間伐や枝打ちなどによる森林の質を維持する活動や、耕作放棄地の解消に向けた取り組みの支援、点在するみどりや歴史に関する資源の活用が必要となります。

■主なみどりの資源等

種類	箇所	面積	備考
都市公園	—	—	
公共施設緑地	2	8,023 m ²	みどりの広場(根府川)、小学校校庭(片浦)
地域制緑地	自然公園(特別地域)、保安林、自然環境保全地域、農用地区域、風致地区		
主なみどりの資源 片浦海岸(ジオサイト)、石橋山古戦場、佐奈田霊社、根府川寺山神社、おかめ桜、江之浦海水浴場、旧片浦中学校			



